

オートマージュ自動水栓

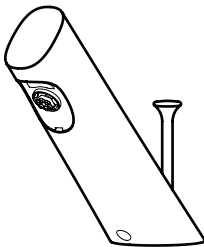
AM-300CV1-LE1 型
 AM-300CV1-LE2 型
 AM-320CV1-LE1 型
 AM-320CV1-LE2 型

AM-300V1-LE1 型
 AM-300V1-LE2 型
 AM-320V1-LE1 型
 AM-320V1-LE2 型

上記の品番は代表品番です。品番の特定は商品の品番シールをご確認ください。
 品番シールの位置は「アフターサービスについて」をご覧ください。

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
 ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
 お読みになったあともすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。



この説明書に記載されている注意事項は、必ず守ってください。

不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入のうえ、お客さまに必ずお渡しください。
 また、定期的な交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

■ 商品概要	1
■ 安全上のご注意	4

■ ご使用方法	9
■ 凍結のおそれがある場合	10

■ 日常のお手入れ	11
■ 定期的なお手入れ	12
■ 定期的な部品交換のお願い	18

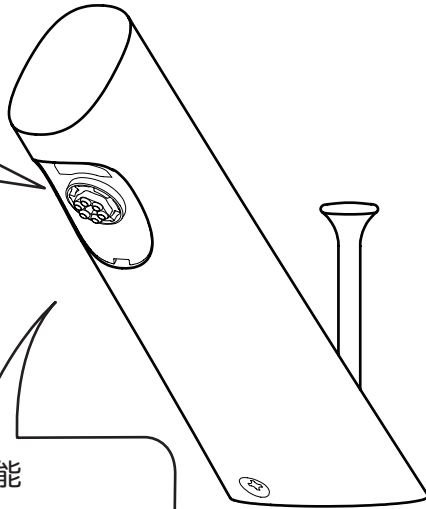
■ 修理を依頼される前に	19
■ アフターサービスについて	23

仕様	24
保証書	裏表紙

商品概要

センサーによる自動吐水
⇒ P.9

感知距離自動調節機能
⇒ P.9
陶器までの距離を自動で感知し、
感知距離を自動で調節します。



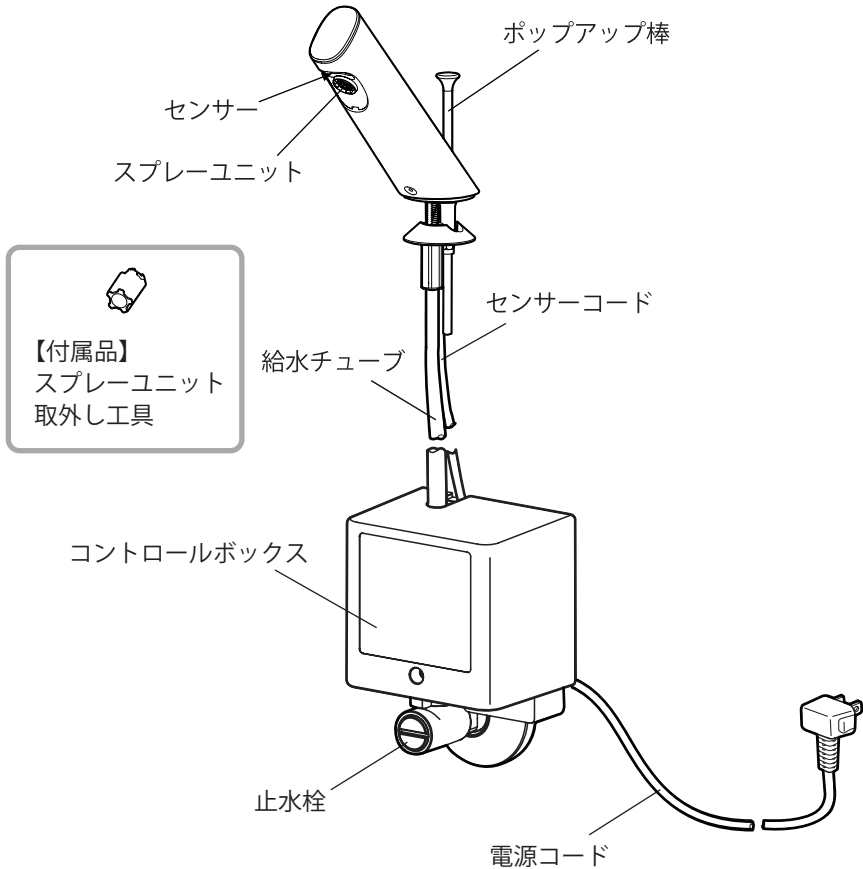
【商品一覧表】

タイプ	品番	吐水形態	ポップアップ
 AM-300系	AM-300CV1-LE1	泡沫スプレー	なし
	AM-300V1-LE1	泡沫スプレー	あり
	AM-300CV1-LE2	スプレー	なし
	AM-300V1-LE2	スプレー	あり
 AM-320系	AM-320CV1-LE1	泡沫スプレー	なし
	AM-320V1-LE1	泡沫スプレー	あり
	AM-320CV1-LE2	スプレー	なし
	AM-320V1-LE2	スプレー	あり

こんなときは

湯や水が出ない	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	—
	止水栓が閉まっていませんか？	P.19
	センサー表面が汚れていませんか？	P.11
湯や水の流量が少ない	止水栓を全開にしていますか？	P.19
その他お困りごと	「修理を依頼される前に」をご確認ください。	P.19

各部の名称



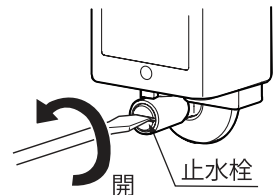
品番によっては図と現状の形状が一部異なります。

ご使用前に

止水栓を全開にしてください。下記を目安に流量をご確認ください。

【最適流量の目安】







ペットボトル 500 ml をいっぱいにする時間の目安は約 30 秒です。




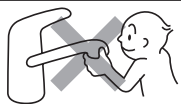

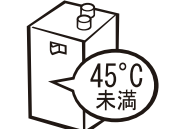


安全上のご注意

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも見ることができる場所に必ず保管してください。






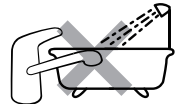




用語および記号の説明

警告	「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
注意	「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
	「注意하십시오!」(上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)
 (禁止)	「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)
 (分解禁止)	「分解してはいけません!」
 (指示)	「指示通りに하십시오!」(一般的な行動指示記号です。)
 (水場禁止)	「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません!」
 (プラグ抜く)	「電源プラグを抜きなさい!」

⚠ 警告：ヤケドをしないために

 (禁止)	小さいお子さまだけでのご使用は避けてください。 ※ヤケドやケガをするおそれがあります。	
 (禁止)	通水温度は 45℃より高温にしないでください。 ※水栓が破損し、ヤケドや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 ※ヤケド防止のため、40℃以下をおすすめします。	
 (指示)	ご使用になる前に、必ず素手で適温であることを確認してください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	

⚠ 警告：発火、感電防止のために

 (分解禁止)	修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造したりしないでください。 ※発火、感電、故障、破損の原因となります。 ※異常動作し、ケガをするおそれがあります。	
 (禁止)	中性洗剤以外は使用しないでください。 ※電気製品ですので、火災、感電の原因となります。	
 (禁止)	電源プラグや機能部に水をかけないでください。 ※電気製品ですので、火災、感電の原因となります。	
 (禁止)	バスルームなどの水がかかる場所や、表面に水滴を生じるような湿気が多い場所では使用しないでください。 ※発火、ショート、感電、故障の原因となります。	
 (禁止)	電源プラグを濡れた手で触らないでください。 ※感電の原因となります。	
 (禁止)	雷が発生しているときは、電源プラグに触らないでください。 ※感電の原因となります。	
 (禁止)	交流 100 V (50/60Hz) 以外では使用しないでください。 ※発火、ショート、感電の原因となります。	100V以外 

はじめて

⚠ 警告：発火、感電防止のために






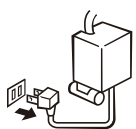

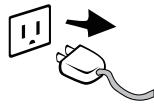

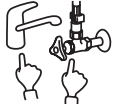
 (禁止)	<p>タコ足配線はしないでください。 ※発火の原因となります。</p>	
 (プラグ抜く)	<p>水栓が故障した場合、コンセントから電源プラグまたはACアダプターを抜いて修理を依頼してください。 ※そのまま使用すると発火、ショート、感電の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>電源コードや電源プラグが痛んだり、コンセントへの差込みが緩んでいたりするときは使用しないでください。 ※発火、ショート、感電の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重い物をのせたり、挟み込んだりしないでください。 ※電源コードが破損し、発火、ショート、感電の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、重い物をのせたり、挟み込んだりしないでください。 ※コードが破損し、発火、ショート、感電の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>電源コードと他のコードを一緒に束ねないでください。 ※発火、ショート、感電の原因となります。</p>	
 (指示)	<p>電源プラグにホコリがたまらないよう、定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でホコリを拭き取ってください。 ※電源プラグにホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。</p>	
 (指示)	<p>電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。 ※発火、ショート、感電の原因となります。</p>	
 (指示)	<p>電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。 ※発火、ショート、感電の原因となります。</p>	

⚠ 注意：正しくご使用いただくために


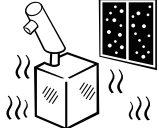


 (禁止)	<p>水道水および飲用可能な井戸水以外は使用しないでください。</p> <p>※商品の内部腐食により、漏水、発火、ショート、感電の原因となります。</p> <p>※飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいいます。</p>	
 (禁止)	<p>水を飲むときは、水の出口に直接口をつけないでください。</p> <p>※ケガをするおそれがあります。</p>	
 (禁止)	<p>衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。</p> <p>※破損してケガをしたり、漏水、故障の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>吐水口先端に重い物を下げたり、力をかけたりしないでください。</p> <p>※摩耗・変形などで部品の寿命が短くなり、漏水の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>キャビネット内の物を出し入れするときは、ホースに引っ掛けるなど無理な力が加わらないようにしてください。</p> <p>※ホースの外れや損傷による漏水で、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	
 (禁止)	<p>止水機構を持った浄水器は、取り付けないでください。</p> <p>※水栓各部からの漏水や給湯機器への逆流のおそれがあります。</p> <p>※水の出口に浄水器を取り付けると、パッキン類が摩耗し、耐久性が低下することがあります。</p>	
 (禁止)	<p>水の出口をふさいだ状態で使用しないでください。</p> <p>※吐水口部から水が浸入し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
 (指示)	<p>直射日光の当たる場所では使用しないでください。</p> <p>※誤作動により、予期せぬ事故の原因となります。</p>	
 (指示)	<p>感知範囲内に障害物が入らないようにしてください。</p> <p>※誤作動により、予期せぬ事故の原因となります。</p>	

はじめに

⚠ 注意：正しくご使用いただくために

 (指示)	<p>めっきのハガレはそのまま放置せずに、修理依頼をしてください。 ※はがれためっきやキズでケガをするおそれがあります。修理依頼はお買い求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターへご連絡ください。</p>	
 (禁止)	<p>使い始めの水は飲用しないでください。 ※長期間水栓内に滞留した水は、飲用に適さない場合があります。</p>	
 (プラグ抜く)	<p>長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。 ※誤作動や故障などによる予期しない事故の原因となります。</p>	
 (プラグ抜く)	<p>雷予報が出たときは、雷が発生する前に電源プラグをコンセントから抜いてください。 ※雷の影響により故障の原因となります。 ※雷が発生しているときは、電源プラグに触らないでください。感電の原因となります。</p>	
 (指示)	<p>定期的にごタツキがないか確認してください。 ※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	

⚠ 注意：凍結防止のために

 (指示)	<p>凍結のおそれがあるときは、凍結予防を確実に実施してください。 ※変形したり故障して、漏水の原因となります。 ※凍結による破損は保証期間内であっても有料修理となります。</p>	
 (指示)	<p>凍結のおそれがあるときは、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。 ※水栓が凍結すると部品が破損し、漏水の原因となります。配管部などに保温材を巻いてください。 ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。</p>	

ご使用方法

水を出す・止める



吐水口の下に手を差し出すとセンサーが感知し水が出ます。手を引くと1～2秒後に止まります。

1分間出し続けると自動的に水が止まります。

再び水を出したいときは、一度手を引き、再び手を差し出してください。

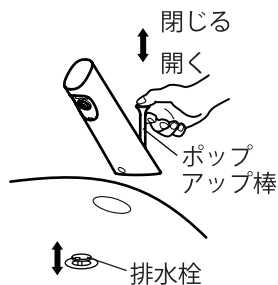
センサーは、赤外線透過してしまうガラス製品は感知できません。また、ステンレス製及びメッキを施したのも感知しないことがあります。感知範囲に手をかざしてご使用ください。

センサーに付着した汚れによる誤感知を防ぐために、センサーに手が触れるような至近距離では感知しない仕様です。水が出ないときは、センサーから少し離れた位置に手を差し出してください。

感知距離自動調節

センサーが水栓陶器間の距離を感知し、感知距離を自動で調節します。陶器と水栓の間に物が置かれていると、調節が正常に行われません。感知距離が短いと感じた場合『感知距離の再調節方法』(P.22)を参照いただき、再調節をしてください。

排水栓を開閉する



【ポップアップ付の場合】

ポップアップ棒を上げると排水栓が閉じ、下げると開きます。

凍結のおそれがある場合

水栓や配管が凍結すると部品が破損し、漏水の原因となります。

凍結による破損は、保証期間内でも**有料修理**となります。

凍結のおそれがある場合や、長期間使用しないときは、急な冷え込みにそなえて、凍結予防を行ってください。

日常のお手入れ

いつまでもご愛用いただくために、普段のお手入れは次のことに注意してください。

布などを使用したお手入れ

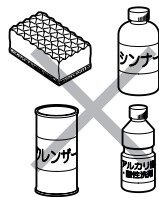
- センサー部分はこまめに掃除をしてください。
※汚れや水滴の付着が誤作動の原因となります。
- 汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取り、その後水拭きしてください。
- 水栓の裏側や狭い隙間などは、30cm 程度の薄い布の両端を持ち左右に動かしながら拭き取ってください。
- お手入れ後は、水滴や汚れ、洗剤を残さないようから拭きしてください。

重要

商品の表面を傷めるおそれのある以下のものは使用しないでください。

- クレンザー、磨き粉などの粒子を含んだ洗剤
- 酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- 研磨粒子入スポンジ、ナイロンたわし、ブラシなど
- シンナー、ベンジンなどの溶剤

※ヒビ割れや変形、変色、故障、性能劣化の原因となります。



- お手入れの際、センサーに直接水または洗剤をかけないでください。
※誤作動や破損、故障の原因となります。
 - ナイロンたわし、ステンレスたわし、メラミンフォーム、ブラシなどは使用しないでください。
※センサーにキズがつくと、正常に作動しなくなるおそれがあります。
 - 壁面のタイルなどをカビ取り剤などで洗浄した場合は、タイルおよび水栓を十分水洗いしてください。
 - 着色されたうがい薬などが商品に付いた場合は、商品表面の変色の原因となりますので、すぐに水洗いしてください。
- ※変色やキズがついてしまった場合は、お買い求めの取扱店・販売店または LIXIL 修理受付センターへお問い合わせください。

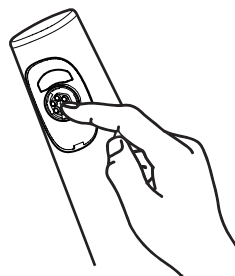
定期的なお手入れ

長くご使用いただくために定期的なお手入れをおすすめします。お手入れのときに異常を見つけた場合は、お買い求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターへ修理をご依頼ください。

また漏水している場合は、修理を依頼される前に止水栓または元栓を閉めてください。

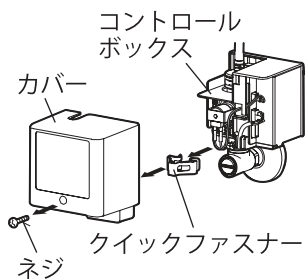
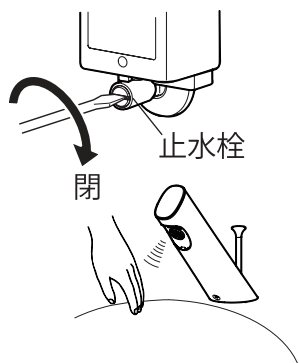
散水板の掃除

水の出方が乱れる場合や流量が少なくなった場合は、散水板の表面を指でこすって掃除してください。

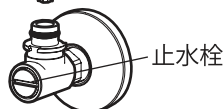
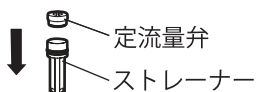
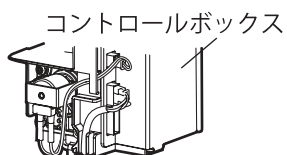
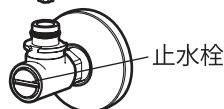
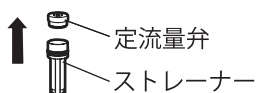
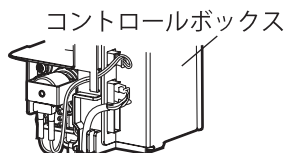


ストレーナーの掃除

散水板の掃除（P.12）をしても、吐水の乱れや流量の低下が解消されない場合は、次の手順でストレーナー掃除をしてください。



1. マイナスドライバーなどで止水栓を矢印の方向いっぱいにもわす。センサーに手をかざして、水が止まったことを確認する。
2. プラスドライバーでネジをはずし、コントロールボックスのカバー、クイックファスナーを取り外す。

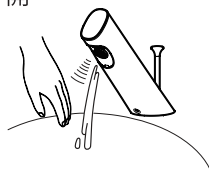
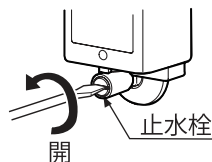
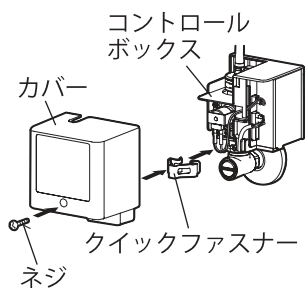


- 3.** コントロールボックスを上方向へ持ち上げ、定流量弁、ストレーナーを取り出したあと、歯ブラシなどを使ってストレーナーのゴミなどを洗い流す。

このとき、水が落ちますので、止水栓の下に雑巾などを置いてください。

定流量弁を紛失しないようにしてください。

- 4.** ストレーナー、定流量弁を元に戻し、コントロールボックスを取り付ける。



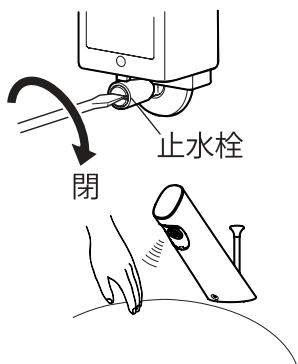
- 5.** クイックファスナーをはめて、カバーをかぶせ、ネジを取り付ける。

- 6.** 止水栓を矢印の方向いっぱいにもわす。

- 7.** センサーに手をかざして水を出し、水漏れしている箇所がないか確認する。

スプレーユニット（ストレーナー）の掃除

散水板の掃除（P.12）やストレーナーの掃除（P.13）をしても、吐水の乱れや流量の低下が解消されない場合は、次の手順でスプレーユニット（ストレーナー）を掃除をしてください。



1. マイナスドライバーなどで止水栓を矢印の方向いっぱいにもわす。センサーに手をかざして、水が止まったことを確認する。

2. 排水口の中に部品を落とすおそれがあるため、排水口の上にタオルや洗面器などを置く。



3. 付属のスプレーユニット取外し工具でスプレーユニットを矢印の方向にまわして取り外す。

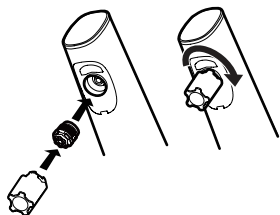
スプレーユニットのパッキンを傷つけないよう注意してください。



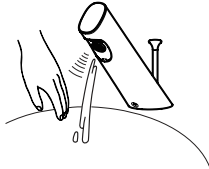
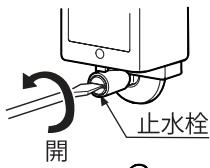
ストレーナー



4. ストレーナーに付着したゴミを水で洗い流す。



5. スプレーユニット取外し工具でスプレーユニットを矢印の方向へ止まるまでまわし、取り付ける。



6. 止水栓を矢印の方向へまわす。センサーにかざして水が出ることを確認する。

水まわりの漏水(年2回以上)

洗面台やキッチンキャビネット内の水まわりの漏水がないか点検してください。

見えない部分は特に注意が必要です。

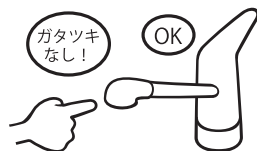
劣化・摩耗などで部品が破損し、ケガをしたり、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



水栓本体のガタツキ(年2回以上)

水栓本体のガタツキがないかを確認してください。

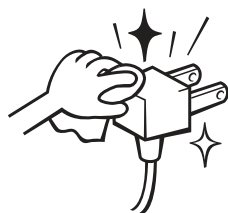
水栓本体にガタツキがあるままご使用になると、配管に負担がかかり、漏水の原因となります。



電源プラグの掃除(月1回以上)

電源プラグに付いたホコリを取り除いてください。

電源プラグにホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



定期的な部品交換のお願い

安全・快適にご使用いただくため定期的な部品交換が必要です。お買い求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターへ修理をご依頼ください。

※部品交換の際は、商品状況により摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。

摩耗劣化する部品の交換

- 部品が摩耗・劣化すると漏水などの原因となるため交換が必要です。
※保証期間外の各部品交換は、**有料**になります。
- 摩耗劣化する部品の例（水栓の種類によって異なります）
例）逆止弁、ハンドル、ハンドシャワー、シャワーホース、ソケット部、バルブ部（シングルレバーカートリッジなど）、パッキンなど

〈定期的な点検・部品交換のめやす〉

使用年

／ 1 ／ 2 ／ 3 ／ 4 ／ 5 ／ 6 ／ 7 ／ 8 ／ 9 ／ 10 ／ 11 ／ 12

お客さまによる日常のお手入れ・点検

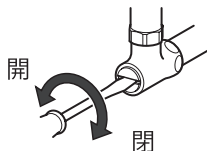
消耗部品の交換

摩耗劣化部品の交換（逆止弁は3年～5年）

買換え
ご検討

修理を依頼される前に

製品以外の不具合、ならびに製品以外に起因する当該製品の不具合については、保証対象外となります。



漏水している場合は、止水栓を閉めてください。

その後、「アフターサービスについて」をご参照いただき、修理を依頼してください。

※止水栓の形状は機種によって異なる場合があります。

水が止まらない		
センサーの表面が汚れていませんか？	センサーの表面が汚れていると誤作動を起こす可能性があります。汚れを柔らかい布で拭き取ってください。	P.11
センサー近辺に障害物はありませんか？	センサーの感知範囲にある障害物を取り除いてください。	—
取付可能な洗面器以外と組み合わせていませんか？	洗面器を感知している可能性があります。取付可能な洗面器と組み合わせてください。	—

水が出ない		
断水中ではありませんか？	回復するまでお待ちください。	—
止水栓が閉まっていますか？	止水栓を開けてください。	—
停電中ではありませんか？	回復するまでお待ちください。	—
電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	—
センサーの表面が汚れていませんか？	センサーの表面が汚れていると誤作動を起こす可能性があります。柔らかい布で拭き取ってください。	P.11

水が出ない		
ストレーナーや散水板にゴミが詰まっていますか？	ストレーナーや散水板にゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.13 P.12
センサーコードがコネクタにしっかりと差し込まれていますか？	コードをコネクタに差し込んでください。	—

水が出たり止まったりを繰り返す		
センサーの表面が汚れていたり、洗剤の泡や水滴がついていませんか？	センサーの表面が汚れていたり、洗剤の泡や水滴がついていると誤作動を起こす可能性があります。柔らかい布で拭き取ってください。	—

すぐに水が止まる		
センサーに3秒以上手をかざし続けていませんか？	水が出たら手をセンサーから引いてください。	—

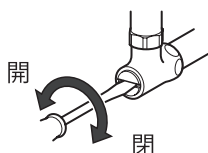
流量が少ない		
止水栓は十分に開いていますか？	「止水栓による流量調整のしかた」をご参照いただき、流量を調整してください。	
ストレーナーにゴミが詰まっていますか？	ストレーナーにゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.13
散水板にゴミが詰まっていますか？	散水板にゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.12

スプレーユニット根元から水が漏れる		
スプレーユニットがしっかり締め込まれていますか？	スプレーユニットをしっかり締め込んでください。	P.15

ラジオにノイズが入る		
水栓の近くに置いていませんか？	ラジオを水栓から遠ざけてください。	—

以上の確認を行っていただいても問題が解決されない場合は、「アフターサービスについて」をご参照いただき、お買い求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターまでお問い合わせください。

●止水栓による流量調整のしかた



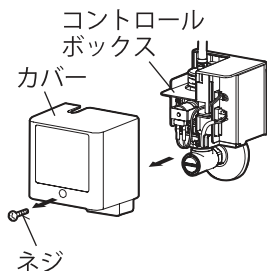
1. 止水栓を全開にします。
2. 閉側にまわして適量に調整します。

● 感知距離の再調節方法

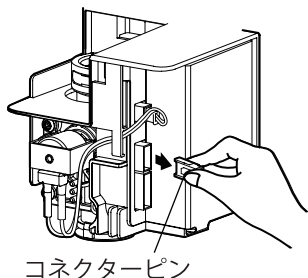
感知距離が短いと感じたときは、センサーを掃除してください。(P.11 参照)。解消されない場合は、以下の手順で感知距離の再調節を行ってください。

確認

センサーと陶器の間に物を置かないでください。

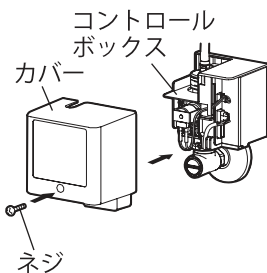


1. プラスドライバーでコントロールボックスの前面にあるネジを外し、カバーを外す。



2. センサーコードのコネクター（青色）のピンを指で押さえながら取り外し、再度取り付ける。10秒経過すると調節が完了する。

この間にセンサーを感知させると正しく調節できません。



3. カバーを取り付け、ネジで固定する。コードを挟み込まないようにしてください。

アフターサービスについて

1. 修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に (P.19)」を確認してください。

⚠ 注意

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。
※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。



2. 保証書と保証期間

この商品は、保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から2年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼される時

<保証期間中は>

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

<保証期間が過ぎているときは>

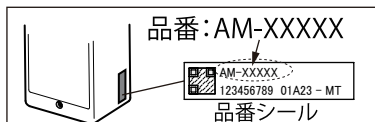
- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

<修理料金は>

- “技術料”+“出張料”+“部品代”で構成されています。

<連絡していただきたい内容>

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番 (商品に表示、右記参照)
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問ご希望日



※品番は最後まで読みとってご連絡ください。

4. 部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品 (商品の機能を維持するために必要な部品) を製造打ち切り後最低10年保有しています。この部品保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。

保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

5. アフターサービス等についておわかりにならないとき

《修理のご依頼は》

お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターへ

■WEB サイトからの修理依頼はこちら

※24 時間依頼可能



リクシル修理

検索

<https://www.lixil.co.jp/support/>

■お電話でも修理を承ります

受付時間 9:00 ~ 19:00

(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末等は緊急時のみ対応)

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

《使い方・お手入れ方法など商品に関するお問い合わせは》

■お客さま相談センター

受付時間 平日 9:00 ~ 18:00

土日・祝日 9:00 ~ 17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP 電話などではご利用いただけません。下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050

FAX 0562-40-4053

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社 プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。

個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

仕様

電源仕様	AC100V(50/60Hz)
消費電力	待機時 0.2W 以下、使用時 1.4W 以下
使用圧力範囲	0.1(流動時)～0.75(静止時)MPa
使用水	水道水および飲料可能な井戸水(注1)
使用環境温度範囲	0～40℃(注2)
使用環境湿度範囲	90%RH 以下
適正流量範囲	0.9～1.35L/分
感知方式	距離測定式赤外線センサー
感知距離	自動調節(感知距離自動調節機能内蔵)
感知エリア幅	φ 10mm
給水(給湯)接続	R1/2

(注1)：飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。

(注2)：破損する恐れがありますので、凍結する可能性のある場所では使用しないでください。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

※品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：オートマージュ自動水栓 (品番：)	
保証期間	取付日
取付日より2カ年) 年 月 日
お客さま	取扱店名
おなまえ	無効
おところ	
おでんわ	
()	TEL () -

お客さまへ ・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理 対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定 (保証規定)

- 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居・ご購入品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL 修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。(免責事項)
 - 用途以外 (車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等) に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
 - 指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
 - お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
 - 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
 - 建築躯体の変形 (強度不足・ゆがみ) 等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
 - 経年変化使用に伴う外観上の現象 (塗装の色あせ、もらい錆等) または使用に伴う消耗部品の摩耗等により生じる不具合
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境 (煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス) に起因する不具合
 - 小動物 (犬、猫、ねずみ、昆虫等) の行為または蔓 (つる) や根などの植物の害に起因する不具合
 - 天災地変 (火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等) に起因する不具合による故障及び損傷
 - 戦争・暴動等の破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
 - 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
 - 消耗品 (浄水カートリッジ、パッキン、ヒューズ、電池等) 類の消耗に起因する故障および損傷などの不具合
 - 温泉水、井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する故障及び損傷不具合
 - 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
 - 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
 - ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境 (異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等) に起因する故障及び損傷などの不具合
 - 保証書の期限切れまたは提示がない場合
 - 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
- 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10カ年です。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターまで

TEL ☎0120-179-400 ※フリーダイヤルは携帯電話・

FAX ☎0120-179-430 PHS・IP 電話などではご利用

受付時間 平日 9:00~18:00 できない場合がございます。

土日・祝日 9:00~17:00 下記番号をご利用ください。

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く) TEL 0562-40-4050 FAX 0562-40-4053

修理のご依頼はLIXIL 修理受付センターまで

■WEB修理依頼はこちら ■お電話でも修理を承ります

※24時間依頼可能 ※受付時間 9:00~19:00

TEL ☎0120-179-411

FAX ☎0120-179-456

https://www.lixil.co.jp/support/

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <https://www.lixil.co.jp/>